

お手入れのしかた

エアフィルター・メンテナンスユニット 10年交換不要脱臭フィルター

※各2個ずつあり、左右の区別はありません。

1. 運転を停止し、電源プラグを抜く

2. オープンパネルを取り外す

3. メンテナンスユニットを本体より取り外す
●メンテナンスユニット下部の取っ手をつかみ、軽く押しなが
ら外し、少し上へ持ち上げてから手前に取り出す。

4. メンテナンスユニットよりエアフィルター
を引き抜く
●エアフィルターの下側をつまんでゆっくり引き抜く。

5. メンテナンスユニット・エアフィルターのお
手入れをする

- ホコリなどを掃除機で吸い込む。
- 汚れがひどいときはスポンジや布などのやわらかいものを使用し、中性洗剤を溶かした水かぬるま湯で洗う。洗ったあとはよくすすいでやわらかい布で水分を十分拭き取り、日陰で完全に乾かす。

必要に応じて…

6. 10年交換不要脱臭フィルターを取り外し、
お手入れをする

- 本体のつめから取り出し、ホコリを掃除機で吸い込む。

取り外した場合は…

7. 10年交換不要脱臭フィルターを元の位置
に取り付ける

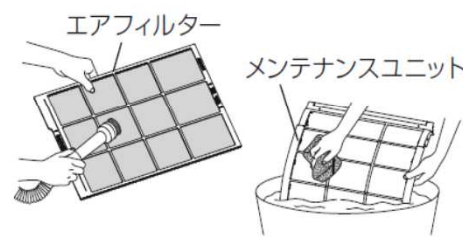
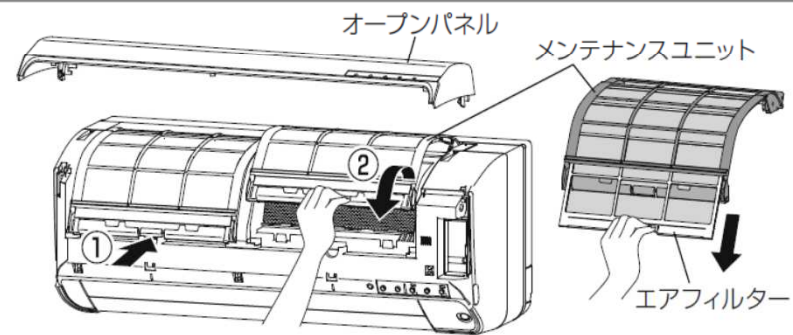
8. エアフィルターをメンテナンスユニットに
挿入してから本体に取り付ける

- エアフィルターの(目印線)がメンテナンスユニットのフィルター挿入部上端と合うよう挿入する。
- ※エアフィルター端部がメンテナンスユニットの三角凸部を越えて凹部にはまっていることを確認してください。
- ※目印線がメンテナンスユニットに対して傾いていないことを確認してください。
- メンテナンスユニットは両脇のガイドピンを本体のガイドに沿って奥まで挿入後、元の位置に取り付ける。

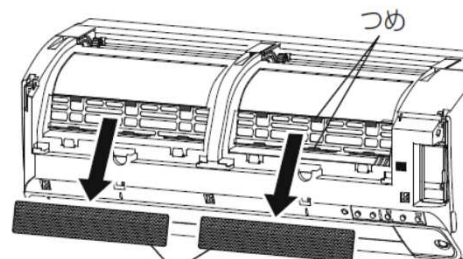
9. オープンパネルを取り付ける

10. 電源プラグを差し込む (エアフィルター位置のリセット)

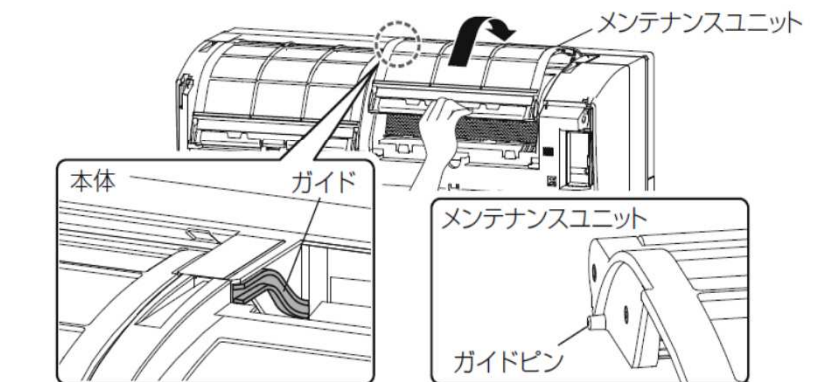
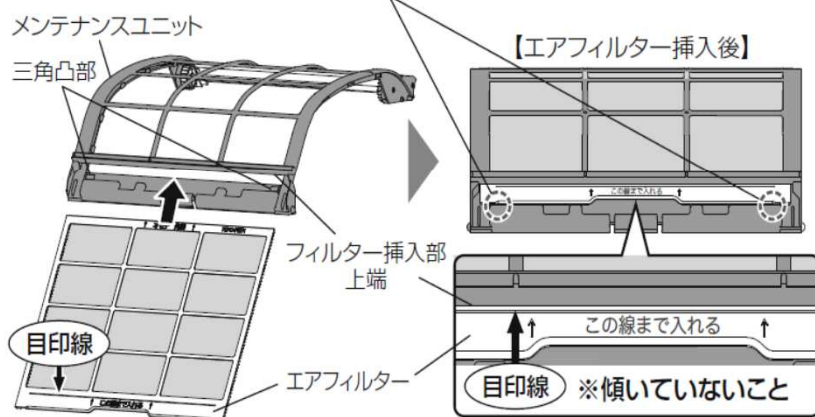
- 約5分間エアフィルターがメンテナンスユニット内で上下にゆっくり動き、エアフィルターの初期動作(エアフィルター位置のリセット)がおこなわれます。



エアフィルターを洗ったときは平らな場所で乾かしてください。洗濯ばさみなどで干したりしないでください。(変形の原因となり、フィルターおそうじ運転が正常におこなえなくなります。)



10年交換不要脱臭フィルターは水洗いできません。



お願い

- エアフィルターを本体より直接引き抜かないでください。(破損の原因)
- エアフィルターやメンテナンスユニットを取り扱うときは強い力を加えたり、分解しないでください。(破損の原因)
- エアフィルターの動作中はさわらないでください。(けがの原因)
- 本体内部にたまったホコリを取るために棒などの細いものを入れないでください。

お知らせ

〈エアフィルターのお手入れについて〉

- 「フィルター自動おそうじ」設定が **切** になっている場合は、2週間に1度はお手入れしてください。
- 「フィルター自動おそうじ」設定が **入** になっていても、ご使用条件や環境によって汚れが取りにくくなる場合があります。特に台所などの油やタバコのヤニが気になるときは、エアフィルターを外して早めのお手入れをおすすめします。
- 長期間「フィルター自動おそうじ」設定を **切** の状態で使用してから設定 **入** にする場合は、一度エアフィルターのお手入れをしてから切り換えてください。